

民間連携事業部と国内事業部が竹橋に移転



移転先の竹橋合同ビル(東京都千代田区大手町1-4-1)。

2019年2月12日、JICAの民間連携事業部と国内事業部が、東京都千代田区の一番町センタービルから同区内の竹橋合同ビルに移転した。

近年、JICAを取り巻く事業環境は大きく変化している。2015年のSDGsの採択以降、ESG投資やSDGsを企業の経営戦略に取り込むとする動きが広がり、国内での途上国への関心は急速に高まっている。また同時に、途上国のニーズは多様化・複雑化しており、開発課題の解決のためには、地

方自治体、民間企業、大学、NGOなど、革新的な技術や豊かな経験を持つパートナーとの連携がますます求められている。

そうした状況をふまえ、JICAは国内の多様な開発パートナーとの連携を促進するため、その中心的役割を担う民間連携事業部と国内事業部を強化してきており、手狭になった麹町のオフィスから竹橋に移転した。竹橋合同ビルは、東京メトロ東西線竹橋駅3b出口に直結しており、近隣オフィス街へのアクセスにも優れている。

ニュース深掘り! 国内パートナーとの連携の“第2章”が始まる

また、皆さまからの事業提案を待つだけでなく、途上国の開発課題をJICAより提示し、その解決に関心を持っていただける民間企業、地方自治体、大学、NGOなどの開発パートナーの開拓にも取り組み、JICA自体も積極的に営業してまいります。

移転を機に、多様なパートナーとの連携機能を拡大してきたこの10年の「第1章」に続く、国内連携の「第2章」が始まります。ご期待ください。

今回の移転プロジェクトを担当しました。竹橋合同ビルの構造上、麹町のJICA本部よりもセキュリティが厳しくなりますが、皆さまが気持ちよくJICAを訪れて、気軽に相談いただけるよう努めました。約200人の移転を業務に支障が出ないように行うため、いろいろな要望に応えるのは大変でしたが、これを機に国内のパートナーの方々の協働がますます進むことを願っています。

JICAの持つ強みは、国内15か所、海外約100か所に広がる拠点ネットワークや、これまでにODA事業を通じて蓄積してきた途上国での活動に関する知見やノウハウ、途上国関係者とのネットワークです。国内連携の中心的役割を担う部門が竹橋に移転しましたが、今後、国内の多様な開発パートナーの方々に、JICAの持つさまざまな資源をより効果的にご提供できるよう、麹町、竹橋、市ヶ谷、国内拠点、海外拠点が一体となった「オールJICA」の体制を構築してまいります。



JICA 総務部
佐藤 渉

さとう・わたる
2002年入構。ザンビアに駐在。アフリカ部アフリカ第二課、社会基盤・平和構築部などを経て現職。

JICA HEADLINE NEWS

2月7日 | ▶ **ネパールで生産性の高い灌漑農業の普及を支援**

「タライ平野灌漑農業振興プロジェクト」討議議事録に署名。

1月31日 | ▶ **北岡伸一理事長が南スーダンを訪問**

日本の協力の成果と平和促進支援、開発協力の重要性を再確認。



◀◀ JICAのニュース&トピックスをもっと読みたい方はアクセス!
<https://www.jica.go.jp/information/index.html>